

■会場

□場所：
調布市文化会館たづくり
大会議場（12階）
〒182-0026
東京都調布市小島町2-33-1

□交通：
◆京王線調布駅南口下車
徒歩3分

□駐車場案内：
◆147台
（車いす用駐車場4台）
◆料金：30分/100円

※車いすに対応したトイレが
あります。



■申込み方法 定員 150名

下記宛先まで、別紙の内容をご記入の上お送り下さい。

□申込先：ファックス 03-6311-8459 / 電子メール：info@suko-machi.net

□宛先：特定非営利活動法人健やかまちづくり事務局

定員になり次第〆切とさせていただきます。予めご了承下さい。

■懇親会のご案内

以下の日時で懇親会を予定しております。情報交換の場ですので、セミナー中に質問できなかったことなど発表者等に直接伺う機会としてご活用下さい。

□日時：平成26年1月29日（水） 17:30~18:30

□場所：調布市文化会館たづくり 展望レストラン

□会費：1,000円

主催 特定非営利活動法人健やかまちづくり

後援 国土交通省（予定）、調布市、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

問合せ 特定非営利活動法人健やかまちづくり事務局 担当：佐藤、吉田
TEL 03-6311-8458 / FAX 03-6311-8459

2020年 東京オリンピック・パラリンピックの 社会インフラ整備セミナー

＜災害・バリアフリー・観光・情報を例として＞

2020年東京においてオリンピック・パラリンピックが開催されることになりました。このための準備がこれから始まろうとしています。10月に英国大使館で行ったワークショップでTfL（ロンドン交通局）から過去のロンドンのオリンピック関係部局へのヒヤリングから、インフラの発注方法やロードプライシング（ロンドン市内に乗用車が入ると1000円以上支払う）の中でのバリアフリーなど、オリンピック・パラリンピックを経てバリアフリーや様々なインフラ整備がワンランク上がっていることを伺いました。

我が国の東京オリンピック・パラリンピックにおいても、バリアフリーやインフラ整備の推進を進めつつ、地震等の災害に対応した準備を進めていく必要があります。本セミナーは、オリンピック・パラリンピックに向けて必要な準備について、特に災害・バリアフリー・観光・情報を中心として最初に考えるきっかけのセミナーを開催します。詳細は下記の通りです。

参加費
無料

■日時：2014年1月29日（水）
13:30~17:30（懇親会：17:30~）

■場所：調布市文化会館たづくり 大会議場（12階）

■内容：第1部 オリンピックと災害・バリアフリー
第2部 バリアフリー・観光・情報の事例

■プログラム

平成 26 年 1 月 29 日 (水) 13:30~17:30 (13:00 開場)

時間	内容
13:30	あいさつ 調布市 長友貴樹市長 交通エコロジー・モビリティ財団 与田理事長 NPO 法人健やかまちづくり理事長 秋山哲男
13:40	第一部：オリンピックとバリアフリー・観光
13:40	2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会について 東京都 スポーツ振興局 オリンピック・パラリンピック大会準備部 輸送担当課長 松島 進 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催計画及び今後の進めかたについて、概要、及びオリンピック・パラリンピックに関連してバリアフリー・観光などについて、現在の状況やこれからの東京都の取り組みについて説明いたします。
14:10	オリンピック・パラリンピックとバリアフリー ①NPO 法人健やかまちづくり理事長 秋山 哲男 ロンドンの移動困難者の交通の歴史をのべ、東京の交通の何がどのように異なるかを比較考量し、オリンピック・パラリンピックへの課題をのべます。 ②交通エコロジー・モビリティ財団 松原 淳 我が国のバリアフリーがどこまで達成し何が足りないかを明らかにします。
14:50	災害とオリンピック 明治大学文学部 特任教授 中林 一樹 1954 年の東京オリンピックと対比させながら、2020 年の東京オリンピックについて、事前や開催中の災害、テロなどの危機管理とともに、オリンピックによる東京の都市づくりのあり方について提案します。
15:20	質疑・応答
15:50	休憩
16:10	第二部：バリアフリー・観光・情報の事例
16:10	調布市のバリアフリーの取組 調布市役所 中島素之 調布市の 10 年間行ってきたバリアフリーの取組について紹介します。
16:25	バリアフリーとオリンピック・パラリンピック NPO 法人健やかまちづくり・八千代エンジニアリング(株) 別府知哉 2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けて、バリアフリーの視点から進めていくべきまちづくりの課題について紹介します。
16:40	観光とオリンピック NPO 法人健やかまちづくり・(株) オリエンタルコンサルタンツ 大西康弘 2020 年のオリンピックに向けて、観光客を迎えるにあたって地域として準備すべきことを、各地における事例をもとに紹介します。
16:55	情報とオリンピック NTT アドバンステクノロジー 海保裕一 情報機器を用いた外国人の 4 か国の道案内の事例(秩父・浅草) などをお話します。
17:10	質疑・応答
17:25	閉会
17:30	懇親会

■講演者紹介

秋山 哲男

NPO 法人健やかまちづくり
理事長



現職、健やかまちづくり理事長、日本福祉のまちづくり学会会長。早稲田大学非常勤講師。東京生まれ。1991 年に工学博士(東京大学)を取得。1975 年 2010 年まで東京都立大学・首都大学東京助手・講師・助教授、教授を務め 2010 年に退職。

松原 淳

交通エコロジー・モビリティ財団
バリアフリー推進部企画
調査課長



バリアフリー、ユニバーサルデザイン、交通、道路、まちづくり、自転車などに携わってきたが、自身が、麻痺が残る大病を患い、復活後は身をもって世界中をまわり、健やかとは何かを問い続ける。事件は現場からが持論。

中島 素之

調布市都市整備部交通対策
課長



調布市入所後、都市整備部、教育部、市民部、福祉健康部、生活文化スポーツ部、外部団体への派遣など多くの分野に携わる。平成 25 年 4 月から現職、障害者施策を担当する障害福祉課にも在籍した経験あり。

大西 康弘

NPO 法人健やかまちづくり
(株) オリエンタルコンサルタンツ
プロジェクト開発部 次長



株式会社オリエンタルコンサルタンツに入社後、都市計画、交通計画などに従事。近年は、観光プロジェクトの全国統括リーダーとして、観光まちづくり、観光地域活性化に関する事業を実施。

松島 進

東京都 スポーツ振興局 オリ
ンピック・パラリンピック大会
準備部
輸送担当課長



招致が決定した 2020 年大会の輸送計画策定に従事。平成 25 年 7 月より現職。

中林 一樹

明治大学文学部 特任教授



東京都立大学工学研究科博士課程修了。東京都立大学都市科学研究科教授・研究科長、首都大学東京都市環境学部教授などをへて現職。研究領域は、自然災害時の大都市自治体とコミュニティの防災対策・災害対策・復興対策研究が主要なテーマである。

別府 知哉

NPO 法人健やかまちづくり
八千代エンジニアリング(株)
総合事業本部社会計画部課長



まちづくりの視点からバリアフリーに取り組む。首都圏を中心にバリアフリー基本構想策定を数多く手がけ、交流促進、地域活性化、防犯まちづくり、サイン計画、自転車計画など幅広く活動を展開。

海保 裕一

NTT アドバンステクノロジー
(株) アプリケーションソリューション事業本部営業 SE 部門担当部長



日本電信電話公社入社、電気通信研究所、NTT 東日本法人営業(公共)を経て現職。バリアフリー情報等の高付加価値情報提供システムの検討・構築に従事。日本福祉のまちづくり学会会員、電子情報通信学会会員。